

生活介護事業所 えがお

1 基本方針

地域に生活される障がい者が健康で生きがいを持ち、安心した自立生活ができるよう、充実した日中活動の提供と支援を行う。

また、地域住民等との連携強化や情報公開等による透明性の確保を図り、地域から信頼される事業所となるように努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 相談及び援助の充実

利用者及び家族のニーズに沿えるよう、心身の状況等を十分に把握し、適切な相談・助言・援助に取り組む。また相談支援事業所と連携し、地域ニーズに沿った相談支援に取り組む。

(2) 日中活動支援の充実

季節を感じる行事やイベント、工作などの創作活動、喫茶運営や清掃委託業務などの生産活動を通して、利用者の自己決定・自己選択を尊重し、働く喜びや生きがいに繋げる。

利用者の特性等を考慮して2班に分け、次のとおり充実を図る。

ア すきっぷ班

高齢者・病弱者のための機能訓練等による介護予防と、音楽療法・創作活動等を通して、日課の充実や楽しみのある生活に繋げる。

イ ほほえみ班

感染予防に配慮をしながら柔軟性をもったアイデアを出し合い、利用者が意欲を持って取り組める生産活動や日中活動を提供する。

(3) 地域活動

行政や他事業所と連携し、地域ニーズの掘り起こしや積極的な支援に努め、地域の障がい福祉サービスの質の向上に取り組む。

(4) 経営改善・基盤の確立

ア 利用者が健康で安全な生活を送ることが出来る環境づくり

病気や事故による長期の利用中止が起こらないよう感染症予防とリスクマネジメントを重点的に行い、安心安全なサービスを提供する。

イ 利用者の状態を適切に把握し、就労支援サービスから生活介護サービスへの移行など、関係機関と連携をとりながら利用者の確保に努める。

[目標稼働率：生活介護100%]

ウ 感染症の流行によりやむなく稼働ができない場合でも療養中の利用者への支援を行い、感染者への対応と予防を継続する。

エ 各種内部研修を企画し、多種多様な障がいに対応出来るよう職員の専門性を高める。

(5) 皆生やまと園との連携推進

ア 施設行事の共催を検討して連携を推進し、利用者間の交流・活動内容の充実を図る。

イ 職員研修の合同開催を推進し、共通理解を進める。